## 水とともに暮らす

Living with the water

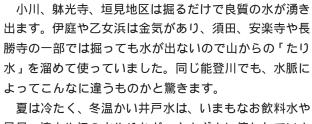
能登川町は水車がシンボルマークになっているほど、水の豊かな町です。 愛知川の伏流水や大同川、瓜生川の水が生活用水となり、田畑を潤し、 また地場産業を発達させてきました。

## 井戸と生活

昭和50年代に上水道が完備されるまで、一部の地域を除いては、ほとんどの家で井戸水が生活用水の中心となっていました。昭和30年(1955)の初め頃までは、つるべ井戸やガチャコンポンプが使われていましたが、後半になると電動ポンプが普及しました。



山からの「たり水」が流れ込む安楽寺の川



夏は冷たく、冬温かい井戸水は、いまもなお飲料水や風呂、植木や畑の水やりなど、さまざまに使われています。



上水揚水地点(長命寺沖の取水口)



黒金気井戸(新宮西)



金気井戸(乙女浜)